

桃井校内研究便り

令和3年3月23日

桃井第三小学校 研究部

＜研究主題＞

児童の「かしこさ たくましさ」を育む指導法の工夫

今年の校内研究のそれぞれの授業の様子をお知らせします。

7月8日（水）3年1組 体育科 「健康な生活」

教諭 小川 美樹

養護教諭 高橋 真弓

食事や睡眠など生活習慣の基本はもちろん、入浴、着替え、手洗いなど体を清潔に保つ大切さを知ることで、健康な生活について考えることができました。手の洗い残しを調べる特殊な機械の登場に子どもたちはびっくり！授業の最後にはICTを効果的に活用して友達と意見交換を行い、自分だけの「手洗いの歌」を考えたり、手洗いチェックリストを作ったりと、自分の手洗い残しの課題を解決する学習に、主体的に学習に取り組む姿が見られました。



10月7日（水）梅組 生活学習単元学習 「英語で遊ぼう」

教諭 小林裕子

主任教諭 小林佐紀子

教諭 川原 悠成

介助員 早川 聖子

人や教材との「関わり」を考えて授業を展開しました。小グループで意図的に大人や友達と関わる場面をつくり、人との関わりを広げました。教材にも興味をもって関われるよう、他教科で行ったゲームをねらいを変えて行ったので、子どもたちはすすんで活動に参加することができました。また、話す、歌う、身体を動かすなど活動を静的・動的なものを組み合わせて行い、子どもたちは楽しんで授業に向かうことができました。



11月18日（水）6年3組 国語科「作品の世界をとらえ、自分の考えを広げる」
主任教諭 中村 恵

宮沢賢治『やまなし』の教材を用いて、子どもたち自らが学習課題を設定し、友達や作品との対話を通して、課題を解決する授業を実践しました。研究授業当日は、「なぜ『やまなし』を題名にしたのか」ということについて考え、文章の叙述をもとに話し合いました。話し合いを通して、友達の考え方や作者の作品や資料等とのつながりを意識し、自分なりに作品を深く読もうとする様子が見られました。



教師主導の授業展開ではなく、子どもたち自ら「何をどのように学んでいくのか」という学習計画を考えたり、多様な課題解決の方法から適切な方法を選択したりする授業を実践していくことの効果を見出すことができました。

12月2日（水）1年1組 生活科 「あきとなかよし あきをみつけよう」
教諭 笠原 大維

生活科は、子どもの願いや思いを大切にする教科です。生活科見学で一日秋遊びをした後は、子どもたちの「見付けた秋で何かできるかな」「たくさん秋のもので遊びたいな」という気持ちを大切にして学習を進めました。今回は見付けた木の実や落ち葉などを使って、子どもたちがそれぞれに思い描いていろいろなものを作りました。頭にどんぐりや葉をのせたり、絵を描いたりしました。また、どんぐりを背の順に並べたりどんぐりゴマを作ったりもしました。遊びの中で試行錯誤しながら秋をたっぷり楽しみ、さらに秋への興味を深めた学習になりました。



来年度も、この主題のもと、ICT機器を有効に活用した授業改善の研究を行っていく予定です。一年間、ありがとうございました。